

AP事業テーマⅣ

「長期学外学修プログラム (ギャップイヤー)」合同総括シンポジウム

長期学外学修の多様な広がり と 大学教育再生の未来

定員200名
参加費無料
事前申込制

定員になり次第
申込を締め切る場合
あります

AP事業テーマⅣ「長期学外学修 (ギャップイヤー)」では、キャンパスの枠を越えて社会と連携した多様な人材育成の取組が展開されてきました。本シンポジウムでは、事業最終年度を迎える各大学の取組を総括し、従来型の大学教育と長期学外学修の関係性、大学と社会との連携、入口と出口を見据えた学生の成長といった観点から、今後の大学教育再生の可能性を提言することを目指します。

日時

2019年
11月10日 (日)
13:00~17:00

場所

ANAクラウンプラザホテル新潟

所在地：新潟県新潟市中央区万代5-11-20
TEL 025-245-3333

対象

高等教育機関・高等学校の教職員、企業・自治体の方など
その他関心のある方はどなたでも御参加いただけます。

申込方法 | 申込締切 2019年10月29日 (火)

ウェブサイト申込フォームまたは裏面のFAX申込書にて、お名前、所属、御住所、連絡先 (TEL、E-mail)、情報交換会への参加の有無を記入の上、お申し込みください。

ウェブサイト申込フォーム

<http://www.iess.niigata-u.ac.jp/ap/>
(右記QRコード)



タイムスケジュール

- 12:20~13:00 受付
- 13:00 開会挨拶 高橋 姿 (新潟大学長)
- 13:10~13:30 基調講演I
「大学教育再生の現状と将来像」
渡邊 千夏 氏
(文部科学省 高等教育局 大学振興課 課長補佐)
- 13:30~13:50 基調講演II
「大学改革は成功したのか?」
川嶋太津夫 氏
(大阪大学 高等教育・入試研究開発センター長 特任教授)
- 14:00~15:30 テーマⅣ 採択校分科会 (3ブース)
- ①「長期学外学修を支える新しい仕組み」
(新潟大学・武蔵野大学・長崎短期大学・宇部工業高等専門学校)
 - ②「社会のニーズと学生の成長をつなぐ」
(小樽商科大学・神戸大学・福岡女子大学・工学院大学)
 - ③「長期学外学修の多様な展開」
(津田塾大学・文化学園大学・東京工科大学・浜松学院大学)
- 15:45~16:45 パネルディスカッション
<パネリスト>
川嶋太津夫 氏 (大阪大学 高等教育・入試研究開発センター長 特任教授)
武藤 義彦 氏 (宇部工業高等専門学校 経営情報学科 教授)
大津 晶 氏 (小樽商科大学 商学部 准教授)
津村 公博 氏 (浜松学院大学 現代コミュニケーション学部 教授)
<モデレータ>
松井 克浩 (新潟大学 副学長 [学務担当])
- 16:50 閉会挨拶 大浦 容子 (新潟大学 理事 [教育・高大接続担当] / 副学長)
終了後、同場所において情報交換会
(17:20~19:00、参加費5,000円)

主催



共催



問い合わせ先

新潟大学教育・学生支援機構連携教育支援センター
〒950-2181 新潟県新潟市西区五十嵐2の町8050番地

TEL 025-262-7760
平日 9:00~16:00

FAX申込書

文部科学省採択事業 大学教育再生加速プログラム (AP)

AP事業テーマⅣ

「長期学外学修プログラム (ギャップイヤー)」合同総括シンポジウム

長期学外学修の多様な広がりと大学教育再生の未来

FAX 025-262-6991

申込方法

ウェブサイト申込フォームまたはFAX申込書にて、お名前、所属、御住所、連絡先 (TEL、E-mail)、情報交換会への参加の有無を記入の上、お申し込みください。

○FAXの場合は、下記の申込書を御利用ください。

申込締切

2019年**10月29日 (火)**

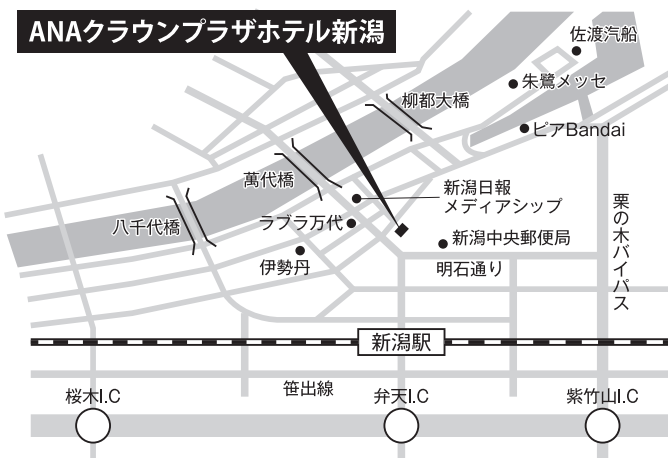
※定員になり次第申込を締め切る場合があります。

所属団体・機関名					
御住所					
TEL			FAX		
(フリガナ) お名前	部署・役職	E-mail	シンポジウム (参加○・不参加×)	情報交換会 (5,000円) (参加○・不参加×)	

※情報交換会の参加費用につきましては、当日受付にて申し受けます。(現金のみ)

※御提供いただいた個人情報は当シンポジウムの運営管理及び関連イベントの御案内に限り利用します。また、取得した個人情報を委託または第三者に提供することはありません。

アクセスMAP



お越しの際は公共交通機関を御利用ください。

交通アクセス

新潟駅から

タクシー……約5分
徒歩……約10分

新潟空港から

バス (新潟駅まで) …約25分
タクシー……約20分

リサイクル適性 (A)

この印刷物は、印刷用の紙へリサイクルできます。

2019年9月